

1
2010 JANUARY

第512号
平成22年(2010年)

かごしま 市民の ひろば

主な内容

- 特集**
2010年ふるさと再発見
かごしま大好き新春パズル… 8・9
- 市政総合… 3・4
 - イベント・講座… 5～7
 - 暮らしのガイド… 10・11
 - 健康・福祉… 12・13
 - すこやか鹿児島っ子… 14・15

編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677
鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表) 市旗
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134(広報課直通)
Eメール kouhou4@city.kagoshima.lg.jp

ホームページ(携帯版同じ)
http://www.city.kagoshima.lg.jp

配布に関するお問い合わせ
南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124




仙巖園御殿内にて

未来に輝く「元気都市・かごしま」を目指して

新春にあたり、幕末・明治維新に活躍した薩摩の志士「桐野利秋(中村半次郎)」にスポットを当てた映画『半次郎』を企画・主演している鹿児島出身の俳優 榎木孝明さんをゲストに迎え、島津家別邸仙巖園で、森博幸市長との対談を行いました。

榎木さんが「映画『半次郎』の成功で鹿児島に活気を呼び込みたい」と言えば、「榎木さんに負けないくらいの情熱を持って未来に輝く「元気都市・かごしま」の実現に取り組みたい」と答える市長。和やかながらも、熱い対談となりました。

今秋公開 映画「半次郎」

市長 由緒ある島津家別邸の縁に腰を下ろし、素晴らしい日本庭園を眺めながら、榎木さんとお話できる機会を持てたことを大変うれしく思います。

榎木さん こちらこそ、とても光栄です。私も、ここ仙巖園には、映画「半次郎」の撮影などで最近も伺いましたが、さすがに鹿児島を代表する景勝の地だと思います。桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた、ここ仙巖園の雄大なロケーションが私も大好きです。絶対のスケッチポイントでもありますね。

市長 榎木さんは、俳優としてしばしば時代劇にも出演されていらっしゃるようですが、このような和の雰囲気がとてもお似合いです。こうして一緒に本場大島紬を着て並んでいると、タイムスリップして私まで薩摩の武士になったような気分になります。島津のお殿様も同じ景色を眺めていたんでしょうか。

さて、今、お話にもありました映画「半次郎」。私もロケの様子を拝見させていただきました。この「半次郎」の映画化の企画を、榎木さんは長年温めていたと伺いましたが、

榎木さん はい。20代のころから、いつかは映画化したいと考えていました。知り合いのプロデューサーなどに話をすると、「おもしろいね」とは言ってくれますが、なかなか実現まで至りませんでした。そこで、本当にやりたいことは、自分で動いたほうが早いと思い立ちました。一昨年の8月のことです。先行きが不透明な現代、自分はどう行動すればいいのか、どう生きればいいのか迷い悩んでいる人も多いと思います。そんな世相や社会を見て思ったのが、西郷隆盛や桐野利秋らの生き方です。「人のために自分は何ができるか、何をすべきか」。武士道の考え方は、私自身の生き方にもかなり影響しています。義のために生き、そして死んでいく、純粋な薩摩武士・桐野利秋(中村半次郎)の生き方を通してその意味が現代の人たち、特に若い人たちにきちんと伝わる映画にしたいと思っています。

桐野利秋(半次郎)の魅力

市長 映画「半次郎」に対する榎木さんの熱い思いがよく分かりました。今回、西郷隆盛や大久保利通、小松帯刀などではなく、全国的にはあまり知名度が高いとはいえない、桐野利秋にスポットを当てたのはなぜですか。

(2面につづく)

(大切なものは保存しておきましょう)